

[広島県感染症予防研究調査会 感染症解析評価部会]
(平成14年10月解析分)

1 疾患別定点情報

定点把握(週報)四類感染症

平成14年9月分(9月2日~9月29日:4週間分)

疾患No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号	疾患No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	0	-	0.00		12	麻疹	15	0.05	0.07	
2	咽頭結膜熱	73	0.24	0.24	↘	13	流行性耳下腺炎	246	0.82	0.79	↘
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	124	0.41	-	→	14	急性出血性結膜炎	1	0.01	0.04	
4	感染性胃腸炎	676	2.25	1.53	→	15	流行性角結膜炎	78	0.98	1.30	↘
5	水痘	133	0.44	0.47	↘	16	急性脳炎	0	-	-	
6	手足口病	416	1.39	0.73	↘	17	細菌性髄膜炎	0	-	0.02	
7	伝染性紅斑	21	0.07	0.11	↗	18	無菌性髄膜炎	10	0.12	1.09	↓
8	突発性発疹	254	0.85	0.82	↘	19	マイコプラズマ肺炎	8	0.10	-	↓
9	百日咳	6	0.02	0.02		20	クラミジア肺炎	0	-	-	
10	風疹	0	-	0.03		21	成人麻疹	0	-	-	
11	ヘルパンギーナ	109	0.36	0.57	↓	「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当り)					

急増減	増減	微増減	横ばい
↑	↗	↗	→
↓	↘	↘	
前月と比較しておおむね1:2以上の増減	前月と比較しておおむね1:1.5~2の増減	前月と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減	殆ど増減なし(発生件数少数のものを含む)

定点について

定点情報は、定点把握対象の四類感染症(週報対象21疾患,月報対象7疾患)について、県内187の定点医療機関からの報告を集計して作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD 定点	基幹定点	合計
対象疾患 No.	1	1~13	14, 15	22~25	16~21, 26~28	
定点数	44	75	20	27	21	187

この情報は、「<http://www.pref.hiroshima.jp/fukushi/kenkou/kansen/index.html>」のホームページに掲載しています。全国情報については、「<http://idsc.nih.go.jp>」に掲載されています。

疾患 No	疾患名	月間発 生数	定点 当り	過去 5年 平均	発生 記号	疾患 No	疾患名	月間 発生 数	定点 当り	過去 5年 平均	発生 記号
22	性器クラミジア感 染症	57	2.11	2.11	↘	26	メチシリン耐性黄 色ブドウ球菌感染	98	4.67	-	↘
23	性器ヘルペスウイ ルス感染症	20	0.74	0.54	↗	27	ペニシリン耐性肺 炎球菌感染症	22	1.05	-	↘
24	尖圭コンジローム	11	0.41	0.27	↗	28	薬剤耐性緑膿菌感 染症	7	0.33	-	
25	淋菌感染症	27	1.00	1.17	↗	「過去5年平均」：過去5年間の同時期平均 (定点当り)					

ヘルパンギーナ 急減（8月302件 9月109件） 無菌性髄膜炎 急減（8月55件 9月10件）
マイコプラズマ肺炎 急減（8月27件 9月8件）

2 一類・二類・三類感染症及び全数把握四類感染症発生状況

一類感染症 発生なし
二類感染症 細菌性赤痢 2件（広島市 ソンネ 相2件）
三類感染症（腸管出血性大腸菌感染症） 5件発生
（備北地域保健所管内O26 2件，広島市O157 1件・O26 2件）
全数把握四類感染症 9件発生
（アメーバ赤痢1件，急性ウイルス性肝炎B型4件，日本脳炎3件，梅毒1件）

3 一般情報

インフルエンザの予防

インフルエンザが流行する季節が近づいてきました。

インフルエンザは普通の風邪と違い，突然の高熱，頭痛，筋肉痛などの全身の症状が強いことが特徴です。体力の弱ったお年寄りが肺炎を併発したり，まだ十分免疫力のない乳幼児が脳炎・脳症を起こした場合は，生命の危険を伴います。

ウィルスの型はA香港，Aソ連，Bの3つで，昨冬もこの3つの型が混合して流行しました。

予防はまずワクチン接種です。ワクチン接種により，インフルエンザにかかりにくくなり，かかっても症状が重くならないようにする効果があります。

今年も流行予測に基づいて，1つの型を混合したワクチンが製造されています。

予防接種を受けてからインフルエンザに対する抵抗力（免疫）がつくまでに2週間くらいかかり，その効果が十分に持続する期間は約5ヵ月間とされています。

早めに医療機関で予防接種を受けましょう。

なお，予防接種は有料ですが，昨冬から65才以上の高齢者と，60才～65才未満の慢性高度心・肺・腎機能不全の方は，一部公費負担による定期予防接種が受けられるようになりました。高齢者などの方は，お住まいの市町村役場へおたずねください。